

ふらっと座談会議事録

○日 時:令和5年6月19日(月) 19時00分～21時00分

○場 所:深淵公民館

○出席者:執行部: 2名(濱田市長・弘田課長) 行政職員: 2名(岩井係長・池田主事) 市民:21名(名簿参照) 地区担当職員: 2名(村山班長・金子)

テーマ:これからのまちづくりの在り方を考える

意見交換

【テーマに関連して町内会長の負担が大きく高齢化社会が進む中、地域の方は現在の町内会の在り方についてどう思うのか。】

・市の取り組みとして町内会単位で運動会のようなやる気が出るようなイベントを開催してはどうだろうか。

・深淵町内会は選挙のような形で選んでいるが、高齢者が多いため町内会長として動ける人が少なく、大変な状況である。

・深淵町内会の町内会長を約20年続けている状況。金銭関係もできるだけ考え、収支がゼロとなるように町内活動を行っている。

・ゴミステーションの管理について、以前は収集されないゴミを写真に撮り回覧を回していたが、最近はゴミ出しのマナーが良くなったためゴミが残ることも少ない状況である。ただ、ゴミ袋に名前を書いていない人がいることも現状である。一斉清掃については地域で一緒に行くことでゴミに関する問題や課題を知ることができたり、親睦の場にもなると思う。

・今年度、深淵南町内会の会長をしている。後期高齢者であり、会長の仕事を一年間できるか不安だが、娘に助けてもらいながら会長の仕事を行っている。町内会長の仕事の軽減のため今年度は通常年2回の募金を一括で払ってもらうようにしてもらった。

・働いているので日中は不在なことがあり、募金の集金に来られても留守のことが多い。以前は総会の時に新会長さんに今年度分のお金を渡していたが、最近は総会自体がないのでそれも難しい。一度総会を開催し今までのように各戸をまわって集金するのではなく総会の時に持って来てもらうようにすればよいと思う。また自分は、自治会の会計を担当しているが、イベントなど行っておらず地域活性化総合補助金を返還しているので、催し物などを実施し地域の活性化につなげたいと思う。

・ゴミの管理について具体的な仕事内容が知りたい。

・自分はUターンしてきて、すぐに町内会長が回ってきたため何の違和感もなく会長を引き受けたが、改善していけることは改善して欲しいという思いがある。

・周りの世帯は70代以上の高齢者ばかりの状態である。このように若い世帯が少ないことから町内会長として活動することが難しいため、良い方法を探したいと思う。

・先ほどの深淵南町内会のゴミや募金の話を聞いて大変だと思った。深淵町内会のように地域を割ったらどうか。そうすれば会長の仕事も軽減できるのではと思った。

・座談会が始まる前に香南市HPを見て過去に行った座談会の内容を見たが、大体同じような内容であり、ほとんど解決していない。HPを見て深淵地区と比べてとき他の地域ではもっと大変なこともあることも考えると市としても、これからのより良い運営も考えなければならないと思う。

・以前ゴミ当番になったときゴミが回収されず残った場合「開けさせてもらう」と書いて張り付けてあった。実際に回収されず残っていたゴミ袋は、開けて何処の家のゴミか調べてインターホンならしたりもした。佐古分(深淵町内会)の人もゴミを放り込んでいく人がいるのも問題である。

・町内会の順番が回ってくるまでのスパンの見直しをしないと誰も町内会長をできなくなってしまうのではと思う。

・町内会長の順番が回ってくるときは80代半ばになってしまうので頭も体も動けるのかの不安がある。

・町内会の仕事として責任感のある業務を行ったことがなかった為、、どういう仕事内容なのか知りたくて参加した。

・以前町内会長の順番が回ってきたときにPC作業ができないため、別の方に代わってもらった。PC等の業務についても高齢者でもできるように改善してほしいと思う。

【ゴミステーションの管理について】

・ゴミステーションの管理はどのように行っているのか。

・昨年行った感想になるが、地域内の一か所のゴミステーションのゴミが回収されていたら管理も何もない。2,3日に一回、都合の合うときにゴミステーションを見に行くようにしていた。もし、回収されてなかったとしても残っていたゴミをゴミステーションの上に置いておいて一週間ほど放置しておくといつの間にか片づけてくれていたりする。片付いていなかったら回収されるように処理する。

・処理とは具体的にどのようなことをしたのか。

・環境対策課から清掃用のゴミ袋を貰い、燃えるゴミとして回収してもらう。プラスチックゴミで回収されない理由としては汚れているということが多いため、ゴミ袋を入れ替え、燃えるゴミとして回収してもらう。頻度としては月に一回あるか無いかである。環境対策課支給のゴミ袋に関しては町内会長から引き継ぐときに、一年分ほどのストックがあるので問題ない。また、清掃用のゴミ袋が無くなれば、環境対策課で新しいゴミ袋をもらえるので心配はない。

・第三水曜日はビン・缶を捨てる日であるがゴミ袋が回収されずそのまま残っていることがある。その処理はどうしていたのか。

・自分が町内会長だったときは一週間以上残っていたことはないので処理をしたことはない。ゴミの問題で何かわからないことがあれば環境対策課へ連絡すれば親切に教えてくれる。昨年度一度も連絡したことはなかった。一斉清掃の時も専用のゴミ袋があるが引継ぎの際にストックを貰えるので心配はない。また、なくなれば環境対策課で支給してもらえる。

【深淵地区の町内会の現状について】

・ゴミの収集車が午前8時ぴったりで回収に来る日と午後2時あたりまで来ない日がある。どのような周期で収集の順番が変わってくるのか知りたい。

市長：収集ルートはあると思うので確認して回答させていただく。

【後日回答】環境対策課

野市町はゴミを種類毎に3つの業者が回収しています。

可燃ゴミについては、「深淵地区には概ね午前10時前後に回収している」とのことですが、「ゴミの量によっては多少違う場合もある」とのことでした。

次に、資源ゴミ(紙・布類以外)は、「回収のルートは特に決まっていないため、午前中に終わることもあれば午後からになることもある」とのことです。「出来る限り午前中に終了するように心掛けている」とのことです。

紙・布類の業者は、「概ね午前中に回収が終了している」とのことです。

回収の順番については、「回収する人や、ゴミの量等にも左右される」とのことです。また、回収ルートについては、各回収業者が決めております。

市長：私はみどり野に住んでおり、みどり野では会長と副会長とが分かれてゴミ処理などの業務を行っている。これから分担して町内活動における仕事をやっていくとなると、今まで町内会長を務めた方からの「自分の当番はもう終わったのに」などの抵抗・反発などはあるのではないかと。

・反発はあると思う。自分自身も正直去年1年間町内会長を務めてこれから34年は何もしなくても良いと思っているが、順番が来てない人は「大役が回ってくる」「出来たら分担して仕事の負担を軽くできればな」と思うのが普通だと思う。だが、今はできるが5年後10年後を考えると出ると思うので、みんなが役割を分担して担うようにできないかと思った。

市長：コロナ禍もありこういった会が開かれなかったことも原因だと思う。香我美町などはコロナ禍前は町民運動会を実施していた。野市町では運動会がレクリエーションに変更になっている。しかし地域対抗で参加できない地域もでてきている。深淵は、そのようなレクリエーションなどを企画したり、参加したりできる若い世帯はいるのか。

・深淵町内会はまだ限界集落になっている。

市長：実際何戸ほど若い世代の家があるのか。

・2,3戸だと思う。

【町内会業務の運営方法について】

市長：(何処に誰が住んでいるのか把握されているようだが)、皆さん顔見知りというか知らない人はいないといった感じなのか。

・そういうわけではない。小さい子などとは関りがないので親がだれか保護者がだれかと聞かないとわからない。

・この世代が町内会活動の仕事をしなければ町内会を維持する方法はないので楽しく、楽にできる方法を見つけなければならない。方向性としては、分担していきたいと思っている。

市長：最近ではゴミ分別などの意識が高くなっていると思うので、昔と比べれば町内会長の担うゴミ管理業務の負担は少なくなっていると思う。全部ひとりでやってそういうイメージが大きすぎてやりにくいのかなという印象があるが、話を聞くと思っていたよりは業務を行っていけるのかなと思う。募金の集金についても総会さえ開ければ一回で一年分を回収するのは可能なのではないかと。

・前例として神社でのお祭りで使用する資金の回収を今まで一軒一軒回っていたが一括で一年分払えるように変更してもらった過去があるので一年分の募金の集金もできるのではないかと考えている。

・1,500円の集金の趣旨が町内会で使うお金ではなく募金なので強制的に集めるのはどうかという意見もある。過去に募金の集金に行った際「募金は強制じゃないだろ」と反対されたことがあると聞いたことがある。先ほどお祭りの話も出たが、自分がお祭り費用の7,000円を一括で払ったら「なんで一括で払うんだ」「聞いてないぞ」と怒ってきた人がいた。その時は、「自分がなかなか会えないからそうしてもらっただけで強制ではない」と言って納得してもらったが、過去に反対意見があったことは事実である。しかし、今回集金を一括で払うようになったときに反対意見・抵抗がなくみんな協力してくれたのは、いい兆しだと思う。神社でのお祭りの資金を一括で払えるように変更したように、募金の集金においても、集金に行くとき一括で一年分を払ってもらうか、総会を開いて1年分の金額を持って来てもらい、払ってもらうシステムにできるのではないかと考えた。

※深淵神社の分はほぼ百パーセント払ってもらったと聞いている(一人7,000円)。

市長：町内会活動業務を会長がどの程度行うのかということを決めておかなければならない。ただ、パソコン作業での業務ができる人とできない人が出てきてしまうと難しいのかなと思う。

・総会は開くべきだと思う。引継ぎに関しても必要なことであるし、募金の集金に関してもそのタイミングで一年分を集金することが出来ると思う。

【地域内の交通手段について】

・火曜日と木曜日にバスが通るのでそれを利用して買い物や病院に行ったりしている。帰りは便数が少ないため、帰れないのでタクシーか知人の迎えで帰っているがとても便利でお世話になっている。

・それはリフレッシュ移動サロンという市の政策で社会福祉協議会が委託を受けてやっているものである。
住民の役に立っており、みんなありがたいと思っているが、欲を言えばもっと回数を増やしてほしいという思いもある。

【町内会長の業務形態について】

・町内会長の仕事をだれもができるように、分担できるものは分担し、一回でできるものはそうするようなシステムを作るのか、深淵町内会のように分けるという選択があると思う。深淵町内会はどういう仕組みなのか。

・数人の負担はあるが、自分はあまり苦ではない。

・誰でもできることではないだろう。

・やめたくてもやめることが出来ない状態である。

市長：誰でもできるようなシステムは必要であると思う。

・現在、深淵町内会はゴミステーションの管理などは三人で管理している。

・誰でもできるようなシステムでなければ深淵南町内会では深淵町内会のように分けられそうにない。

市長：分けれるところは分けることが出来れば良いと思う。合意が取れるところで細分化していくことが出来るのではないかな。
例えば先ほど深淵町内会と深淵南町内会とで家が16軒と18軒あるという話があったが、8軒と8軒・9軒と9軒で分けれるなら分けるなど近場で分けれる範囲で分けることが出来れば良いと思う。

【これからの活動に対する懸念点について】

・集金の問題は総会で集金ができたら一挙に解決する。残るは、ゴミステーションの管理と、パソコンでの文書作成ができないという問題のみになるため、それほど負担にはならないのではないかな。具体的にできることはゴミステーションなどの管理を分担していく方向ではないかと考えている。ただ、分担制という方向に持っていくには、町内会長の順番が終わった自分やほかの人からしたら、「いやもう終わったのに嫌だ」というような抵抗はあるかもしれない。そういう反対意見が出てくる可能性があると思う。

市長：地域全体で回していかなないと一人で町内会長としての仕事ができないと気づいてから会長になってしまうと運営などが大変なため、協力していく必要があると思う。

【深淵地区の町内会の現状について②】

・若い人がいないという問題があるが、若い人が入ってきたとしても日中、仕事をしているとなると町内会の仕事をする時間がない。町内会の仕事をするようになった際には仕事を休んでもらわないといけなくなるためその部分でも不安に感じている。

・現在は仕事や用事がある人に無理にお宮の掃除を頼んだりはおらず、強制でどうしても来てくださいという形にはしていない。参加の可否について、柔軟にしていかなければならないと思う。また、お宮の掃除となると宗教の話になるため強制はできない。

【町内会費について】

市長：現在、町内会費を集める形にしていらないが、町内会費を集めるという話にならなかったのか。

・深淵南町内会は現在町内会にかかる費用を香南香美衛生組合から出る助成金で賄っているため会費としては徴収する必要がない状態にある。

・深淵町内会は「田役費」というものを払ってもらっている。

【深淵地区の町内会の現状について③】

・町内会の年齢を調べたら大体が70代を超えていると思う。また、若い人がいても勤務先がこの辺りではないので深淵地区の外に出てしまう。5年後・10年後にどうやって町内会をやっていくかのプランを練った方が良いのではないかな。

・空き家も増えて限界集落となるのも近い。

・運動会など開催も難しい。

・運動会じゃなくレクリエーション大会でいいのではないかな。勝ち負けが関係ないイベントなら開催できるだろう。

【深淵地区の町内会の現状について④】

・20年後とかに町内会長の順番が回ってきても年齢や、体力の問題で業務を遂行できる自信がない。

市長：そうなる前に分担できるところを決めておかないといけない。

・年齢的な問題で町内会長の順番が回ってきてもできないとなった場合は、どうなるのか。

・次の町内会長の順番の人に代わってもらうことが出来る。しかし免除という形ではない。

市長：町内会に入っていない人もいるのか。

・入っていない人もいる。ただ配布しないのも気の毒なため広報は配っている。

市長：香南市外から引っ越して来た人で町内会へ入っていない人がいるということか。

・その通り。一度勧誘はした。

・以前は、市が転入してきた方と町内会長へ町内会の案内を送付していたが最近は個人情報の関係上、市からの送付が少なくなったので、放置している状態である。

市長：町内会に入っていない人はやはり若い人になると思うが、これからのことを考えると助け合っていくことが必要だと思う。

・町内会に入っていない方でも、募金はしてくれている。

市長：町内会は面倒くさいことをやらないとならないというイメージを持って町内会長をやりたがらないというのはあるのだろうか。

・おそらくあると思う。

市長：実際、入ってみると人と人との紹介があり、地域の方とのかかわりがあることで安心に繋がる事が出来る面では町内会は良いものなのではないかと私は思う。

【ゴミの問題について】

・町内会に入るメリットはあるだろうか。

・昔の町内会は「町内会に入らないとゴミを捨てたらだめ」と言う町内会が高知市内にあったようだが野市町はどうなのか。

村山班長：捨てる場所の規則はないためそういうことはない。

・住んでいるところとは違うゴミステーションだが通勤などで通る道にゴミステーションがあるからそこに捨てている人がいるが処罰はされないのか。

市長：厳密には処罰はされない。

村山班長：しかしゴミステーションは地域がお金出しあって作っているわけだから、違う地区の方が捨てに来るとするのは良い思いはしないと思う。

・昔はゴミ袋開けて確認したりもした。警察を呼んでゴミの処理した町内会長さんもいたりした。ペットボトルのラベルをはがしてないと回収してくれないので、ラベルが剥がされていないときは写真を撮って回覧で回したりもした。それなりにみんなに協力してもらっている状況。

市長：割と分別をするという意識としては高まっていると思う。

・減ってきてはいる。まれに名前の記載がなかったりするがそれ以上の問題行動はない。

市長：市外から引っ越してこられた方は、以前住んでいた場所のルールでゴミを捨てたりする場合があるが、ほとんどの場合はゴミ出しを重ねるごとに改善はされている。ただ、一定数、ルールを守らない人もいるのが現状であり難しい問題である。

・他の市町村と比べると香南市のゴミの分別は厳しいように感じる。

・名前をゴミ袋に書かなければいけないのは驚いた。

・香南市のゴミの分別は何故こんなに厳しいのか、ゴミ処理の燃焼温度が低いからというのはよく聞くがそれが理由なのか。

市長：やはりゴミ処理場の処理能力の話になってくると思う。

・南国市とかも燃焼温度が低いと聞く。

市長：香南市も使用している南国市の焼却炉は高知市と違い、高性能のものではないためだと思う。ただ最近SDGSやゴミの分別についてよく聞くためそのことに関してはきちんと行った方が良いと思う。また、ゴミのことについての学校教育を行っており、子ども達の方がゴミについて関心があったりすることからゴミの分別を細かく行っていることはゴミについての教育の面で誇れることだと思う。また、それが普通認識にならないといけないと思う。そのため厳しいというお声もあるが出来る限り協力していただきたいと考えている。

【市役所職員の対応について】

・ゴミステーションを作るときに感じたことだが、ゴミステーションを置く場所の地図を貼らないといけない時、建設課と農林水産課とでどちらが受け持ちか言い合っていたりした、さらに地図をコピーして貼り付けるだけで300円のお金を取られる。そういう効率の悪さなども踏まえて全体的に流れを良くしてもらいたいという思いがある。各業務について、どこに行ったらいいか丁寧に教えてほしい。水掛け論をしている場合ではないから行うべき仕事はしっかりと行ってほしい。

市長:おっしゃる通り、わかりやすく一回で気持ちよく利用していただけるように努める。

・役場の方に何か頼んだ時に「はい、はい」と聞いてくれるがそれから後のことが一つも伝わってこない。何とかそういうところも改善してもらいたい。

市長:おっしゃる通り。

村山班長:実際、自分も務めていてそんなことを感じることもある。周りと相談しつつなるべく早くお答えするようにはしているが、全部は把握していないので教育しておく。

・相談する際どこの課に行けばいいかわからない場合どうすればいいのか。

村山班長:市HPや総務課に問い合わせたり、案内窓口を担当課を問い合わせてもらえたらと思う。他には、担当課の人にとっては失礼になるかもしれないが、時間がかかってしまったり、どうしてもわからないときは知っている職員がいる課に相談してもらえばいいと思う。おそらくその方が早く回るのではないかなと思う。

・人事異動とかでまた最初からの説明をしないといけないのが負担となっている。さらに、頼んでいたことが1週間待たされてどうなっているのかと尋ねたら、30分で出来上がったことがある。責任感を持ってやってもらいたい。熱量がある人となない人との差が激しい。

市長:おっしゃる通り。

【まとめ】

・この会では町内会長の業務の分散について反対意見が出てないが、言いずらいだけで反対意見があるかもしれない。個人的には反対の意見の方はいると思う。

市長:市としても大切なことは町内会はどんな形であれ維持してほしい。南海トラフや自然災害が発生するかもしれない。そんなときに町内会との関わりがあるので、何かあったときに協力を求められる。また、その時に問題なのが「町内会に入っていないため助け合えない」という関係性ができてしまうことだと感じている。せっかく近くの地域に住んでいるのに何かあったときの支障になることが一番不安に感じている。そういった意味では、様々なことが出来る限り、分担出来れば良いと思う。町内会の大きさは地域によっても異なると思うが、1つの塊として存在することが大切だと考える。そのため、できる限り町内会維持のために協力していただきたいという思いがある。